



# ADRC Highlights

Vol.104

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

November 1, 2004

## ➤ アジア防災センター、フィリピン政府より防災功労賞「カラサグ賞」を受賞

アジア防災センター(ADRC)は、フィリピンならびにアジア各国において防災能力向上に多大な貢献を行ってきたとして、このたび、フィリピン国政府より「カラサグ賞」を受賞しました。

フィリピン政府は、毎年、防災活動や人道問題の解決などに顕著な貢献が認められた団体と個人に対して、「カラサグ賞」を授与しています。「カラサグ」とは、現地タガログ語で「楯」を意味し、この「楯」が外部からの脅威、攻撃に対する防御を象徴するものであることから、この賞の名前が付けられています。



授与式は、2004年10月18日フィリピン・ケソン市にある国軍本部のキャンプ・アギナルド内の大会堂にて、500名を超える関係者を招いて開催されました。今回は、第4回目の授与式で、アジア防災センターは、「セーブ・ザ・チルドレン(米国)」とともに特別賞の国際部門で表彰され、写真の楯が授与されました。

当センターにおきましてはこの受賞を、フィリピンを含む当センターのメンバー国ならびにアドバイザー国、その他関係者のご支援、ご協力の賜物であると考慮しており、この紙面をお借りして、深く感謝申し上げます。この受賞を契機として、今後とも、さらに高いレベルでの防災協力の推進に向けて、努力をしていきたいと存じます。

## ➤ 台風委員会ワークショップが開催 ADRC が参加

2004年9月20~24日、韓国のソウルにおいて開催された、台風委員会水文部会のワークショップ「リスクと共に生きる～総合的な水資源管理における台風関連災害への取組み～」に、アジア防災センターが参加しました。

今回の台風委員会のワークショップは、水門部会ならびに気象部会のメンバーが初めて参加したこと、また多くの国際専門家による講義が行われたシンポジウムが併せて開催されたことが特徴的であり、活発な議論が交わされる有意義な会合となりました。

当センターは、日本政府の主導によるハザードマッププロジェクトに関するセッションの中で、国際建設技術協会(IDI)、韓国水資源公社(KOWACO)の協力を

得て、コミュニティベースのハザードマップ作成についてのオンサイトトレーニングを実施しました。トレーニングは、韓国で最初に浸水予測図が作成された安成川流域の平澤市(ソウルから南へ約70km)において行いました。

多くの参加者は、実際に浸水予測図を手にして現地を見て回り、ハザードマップの作成に着手しました。こうした作業は、参加者にとって初めての経験でしたが、町を歩いて浮き彫りになった問題点について、洪水ハザードマップ作成の日本人専門家より解説が随時なされたこともあり、具体的なハザードマップ作成手法について、一様に理解を深めました。



また多くの参加者より、こうしたプログラムがコミュニティの防災力向上によって効果的であるので、本国での応用を検討したいという意見が寄せられました。なお、この件に関しましては、研究員の児玉(kodama@adrc.or.jp)までお願いします。

## ➤ 兵庫県豊岡市での洪水被害現場を調査

2004年10月20日夜半から21日にかけて日本西部を襲った台風23号により発生した兵庫県豊岡市周辺の洪水被害について、当センターは、10月26、27日の2日間、現地調査ならびに、被害の大きい庄境地区で復旧作業のボランティア活動を行うため、客員研究員2名を含む4名を現地に派遣しました。



洪水の原因は、激しい降雨と河川水位の上昇による円山川河川堤防の決壊で、その直下の庄境地区では水深約3メートルの浸水被害となりました。水が引いた後も、泥土が地区全域を覆い、特に高齢の住民は清掃作業や水没家財の搬出にボランティアなど救援を必要としていました。

当センターの調査団は、豊岡市役所職員や地元住民への聞き取り調査の後、家屋や周辺道路の泥土除去作業などのボランティア活動に従事しました。

なお、この件に関しましては、主任研究員の寺西(teranishi@adrc.or.jp)までお願いします。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)